

# 第44回 生理学技術研究会参加報告

共通機器部門・情報基盤機器管理班 新開 薫

## 1. はじめに(目的等)

理工医学系大学・共同利用研究機関の技術職員が、日々、業務作業工程・研究補助等に従事を行う際、合理的・簡素化作業、失敗や成功例の報告等含めた案件を発表者及び参加者同士にて、ポスター口演発表の場を通じて、情報交換・討論意見を行いつつ、業務に関わる技術や関係性がある技術も含めて、最新動向の情報収集・技術知識習得することを目的に参加した。

(第33回生物学技術研究会と合同開催)

## 2. 期間・場所

期間:令和4年2月17日(木)~18日(金)

場所:オンライン開催(zoom形式)

## 3. 参加者等

国立大学法人・公私立大学法人等・及び大学共同利用機関法人(情報・システム研究機構・核融合学・遺伝子学・基礎生物学・生理学・分子科学等研究機構)の技術職員、168名程度

## 4. 研修内容

1日目・研修講演 定量生物学の現状展望

自然科学研究機構 生命創成探求センター 定量生物学研究グループ

基礎生物学研究所 定量生物学研究部門 青木 一洋 教授(main roomにて聴講)

・ポスター口演発表 ブレイクアウトルームから room1,room2 に参加移動して聴講。

ポスター口演発表後、room1a,1b,1c・room2a,2b,2c へ移動して、各発表者との

個別・集団質疑応答及び情報共有意見交換を行う。計12件

2日目・ポスター口演発表 ブレイクアウトルームから room1,room2 に参加移動して聴講。

ポスター口演発表後、room1a,1b,1c・room2a,2b,2c へ移動して、各発表者との

個別・集団質疑応答及び情報共有意見交換を行う。計17件

・分科会 room2a,1a,1b にて聴講後、質疑応答等を行う。・オンライン施設見学会の参加。

## 5. まとめと感想

生理系・生物系のポスター口演発表を通じて、生物に対する飼育保全・環境改善整備及び生態構造への研究観察開発に関心と興味を持ち得た。情報基盤系にて、共通データベースの作成・遠隔実習のための教材整備と対応等にて、利用できる点の方法・作業技術応用活用を遂行したいです。

新型コロナウイルス拡散時期の研究会開催において、主催者側・案内係・世話役の方々、運営進行・気転動作等の対応は、予行練習作業・企画制作作業の努力が行われていると感じ取れました。